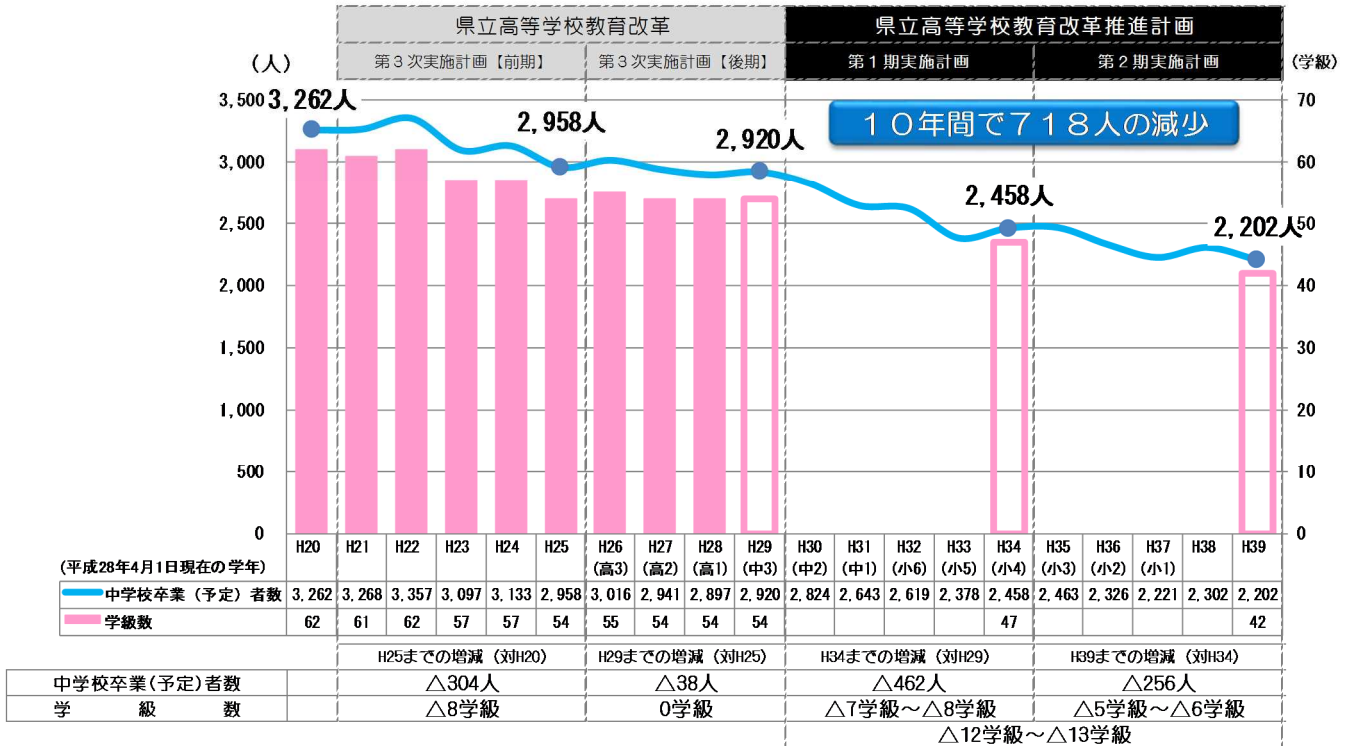


東青地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流入等入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)

■ 普通科等 ■ 職業学科 ■ 総合学科

学校名	候補校	H29		4c1 6c1					
		学級数	募集人数	4c1	6c1	4c1	6c1	4c1	6c1
青森	重点校	7	280	40	40	40	40	40	40
青森西		6	240	40	40	40	40	40	40
青森東		7	280	40	40	40	40	40	40
青森東・平内		1	40	40					
青森北		6	240	40	40	40	40	40	40
青森北・今別	地域校	1	40	40					
青森南		6	240	40	40	40	40	40	40
青森中央		5	200	40	40	40	40	40	
浪岡		2	70	35	35				
青森工業	拠点校	7	245	35	35	35	35	35	35
青森商業	拠点校	6	240	40	40	40	40	40	40

(11校)

	H29	H34		H39	
	学校数	学校数	(対H29)	学校数	(対H29)
7学級	3校	0校	△3校	0校	△3校
6学級	4校	3校	△1校	1校	△3校
5学級	1校	5校	+4校	4校	+3校
4学級	0校	0校	±0校	3校	+3校
3学級	0校	0校	±0校	0校	±0校
2学級	1校	1校	±0校	1校	±0校
1学級	2校	2校	±0校	2校	±0校

地区計	54学級	47学級	42学級
増減		△7学級	△12学級
平均	4.9学級	4.3学級	3.8学級

3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

- 基本となる学校
1 学年当たり 4 学級以上（全ての学校が対象）
- 普通科等の重点校
1 学年当たり 6 学級以上
- 職業教育を主とする専門学科の拠点校
一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

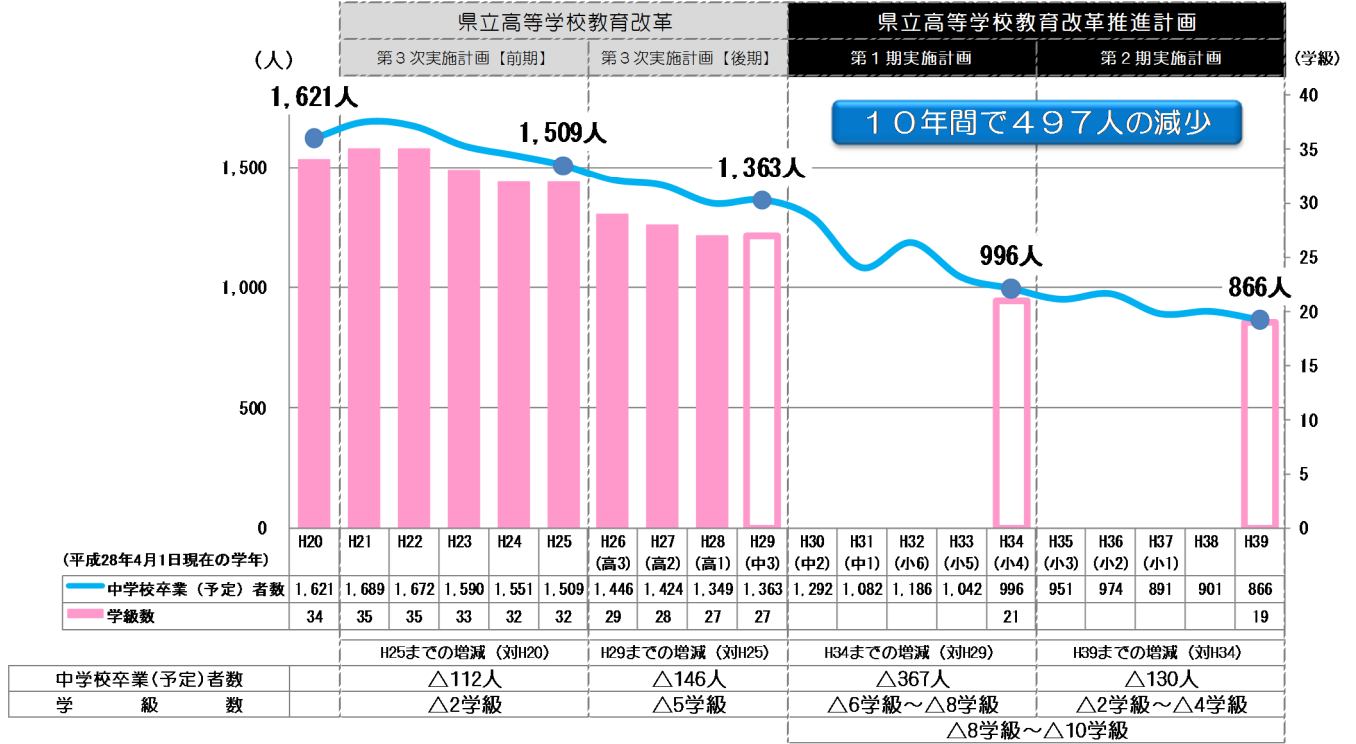
試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	青森高校	7 学級	△ 7 学級 (対 H29)	△ 1 2 学級 (対 H29)
拠点校	青森工業高校	7 学級		
	青森商業高校	6 学級		
地域校※	青森北高校今別校舎	1 学級		
重点校等の合計		2 1 学級		
連携校	青森東高校	7 学級		
	青森西高校	6 学級		
	青森北高校	6 学級		
	青森南高校	6 学級		
	青森中央高校	5 学級		
	浪岡高校	2 学級		
	青森東高校平内校舎	1 学級		
連携校の合計		3 3 学級		
東青地区全体の合計		5 4 学級	4 7 学級	4 2 学級

※基本方針に定める地域校の方向性に基づき、募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合には、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向けて協議します。

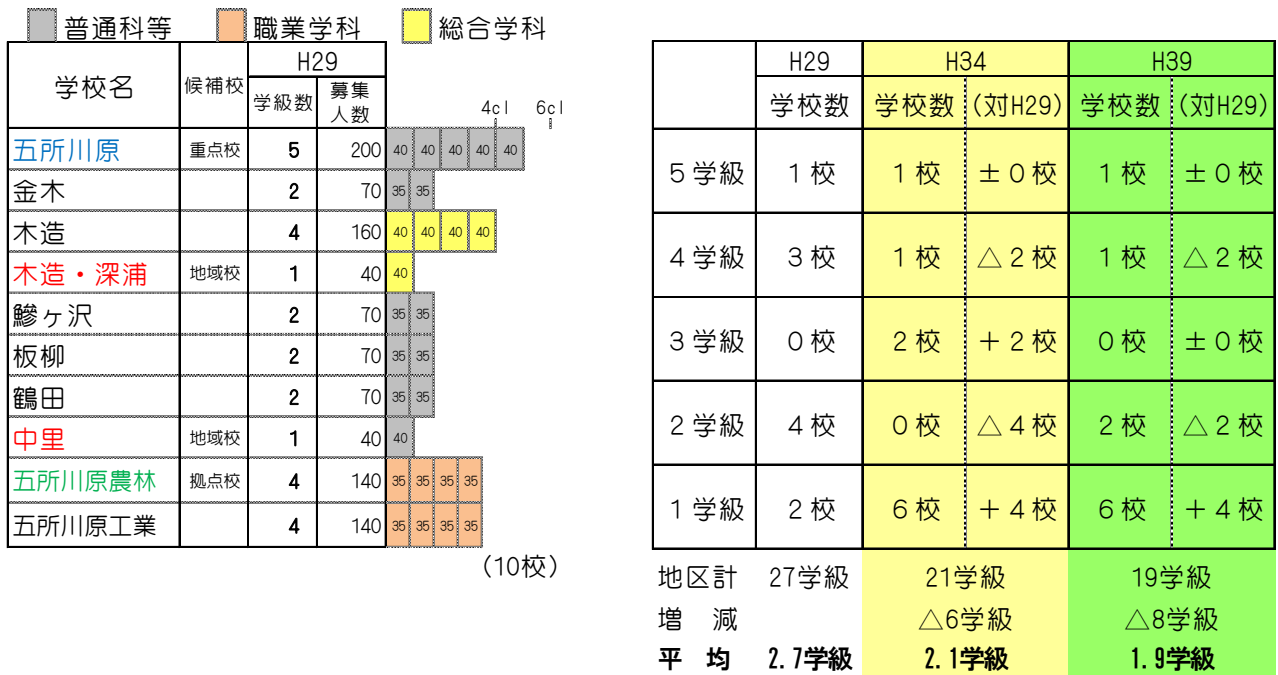
西北地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)



3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

- 基本となる学校
1 学年当たり 4 学級以上（全ての学校が対象）
- 普通科等の重点校
1 学年当たり 6 学級以上
- 職業教育を主とする専門学科の拠点校
一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

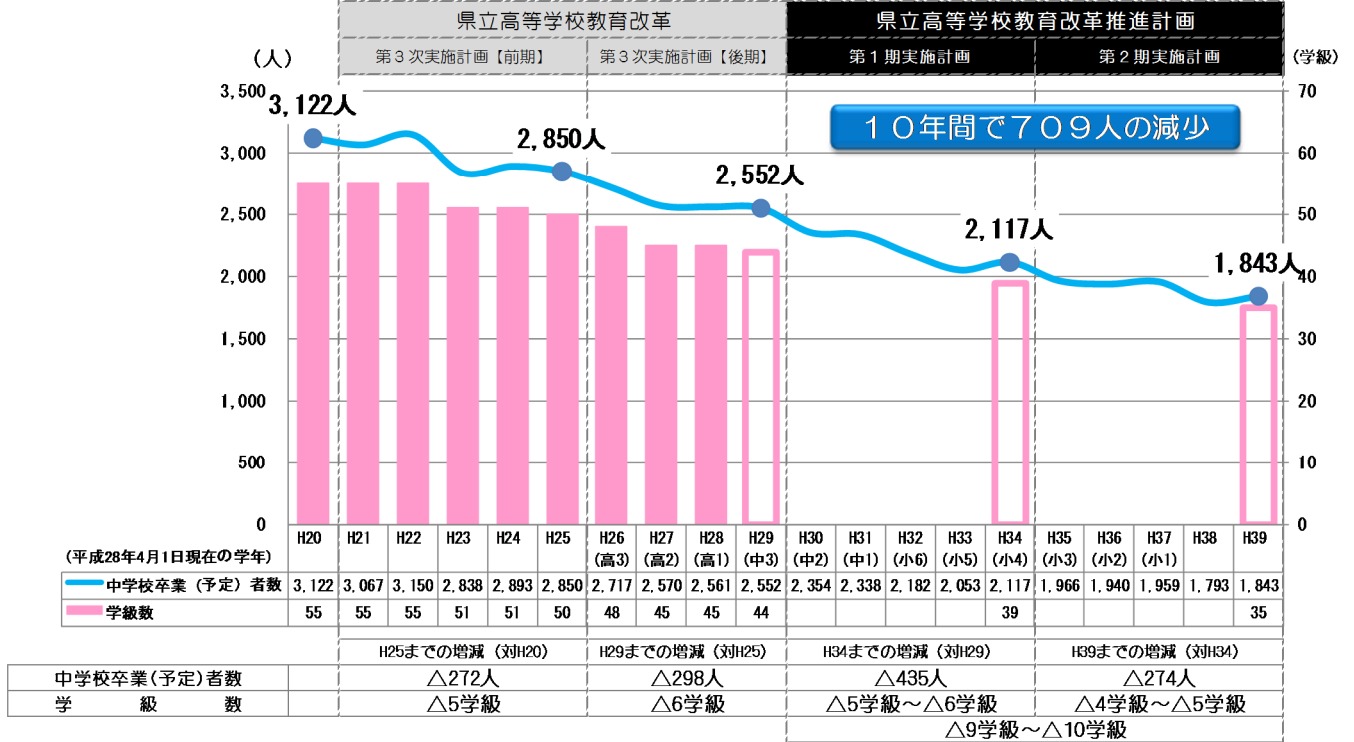
試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	五所川原高校	5 学級	△ 6 学級 (対 H29)	△ 8 学級 (対 H29)
拠点校	五所川原農林高校	4 学級		
地域校※	木造高校深浦校舎	1 学級		
	中里高校	1 学級		
重点校等の合計		1 1 学級		
連携校	五所川原工業高校	4 学級		
	木造高校	4 学級		
	金木高校	2 学級		
	鱒ヶ沢高校	2 学級		
	板柳高校	2 学級		
	鶴田高校	2 学級		
連携校の合計		1 6 学級		
西北地区全体の合計		2 7 学級	2 1 学級	1 9 学級

※基本方針に定める地域校の方向性に基づき、募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合には、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向けて協議します。

中南地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)

学校名	候補校	H29		4c1						6c1	
		学級数	募集人数								
弘前	重点校	6	240	40	40	40	40	40	40		
弘前中央		6	240	40	40	40	40	40	40		
弘前南		6	240	40	40	40	40	40	40		
黒石		4	160	40	40	40	40				
柏木農業		4	140	35	35	35	35				
弘前工業	拠点校	7	245	35	35	35	35	35	35	35	
弘前実業		7	280	40	40	40	40	40	40	40	40
黒石商業		4	160	40	40	40	40				

(8校)

	H29	H34	H39
	学校数	学校数 (対H29)	学校数 (対H29)
7学級	2校	0校	△2校
6学級	3校	3校	±0校
5学級	0校	2校	+2校
4学級	3校	2校	△1校
3学級	0校	1校	+1校
地区計	44学級	39学級	35学級
増減		△5学級	△9学級
平均	5.5学級	4.9学級	4.4学級

3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

○基本となる学校

1 学年当たり 4 学級以上 (全ての学校が対象)

○普通科等の重点校

1 学年当たり 6 学級以上

○職業教育を主とする専門学科の拠点校

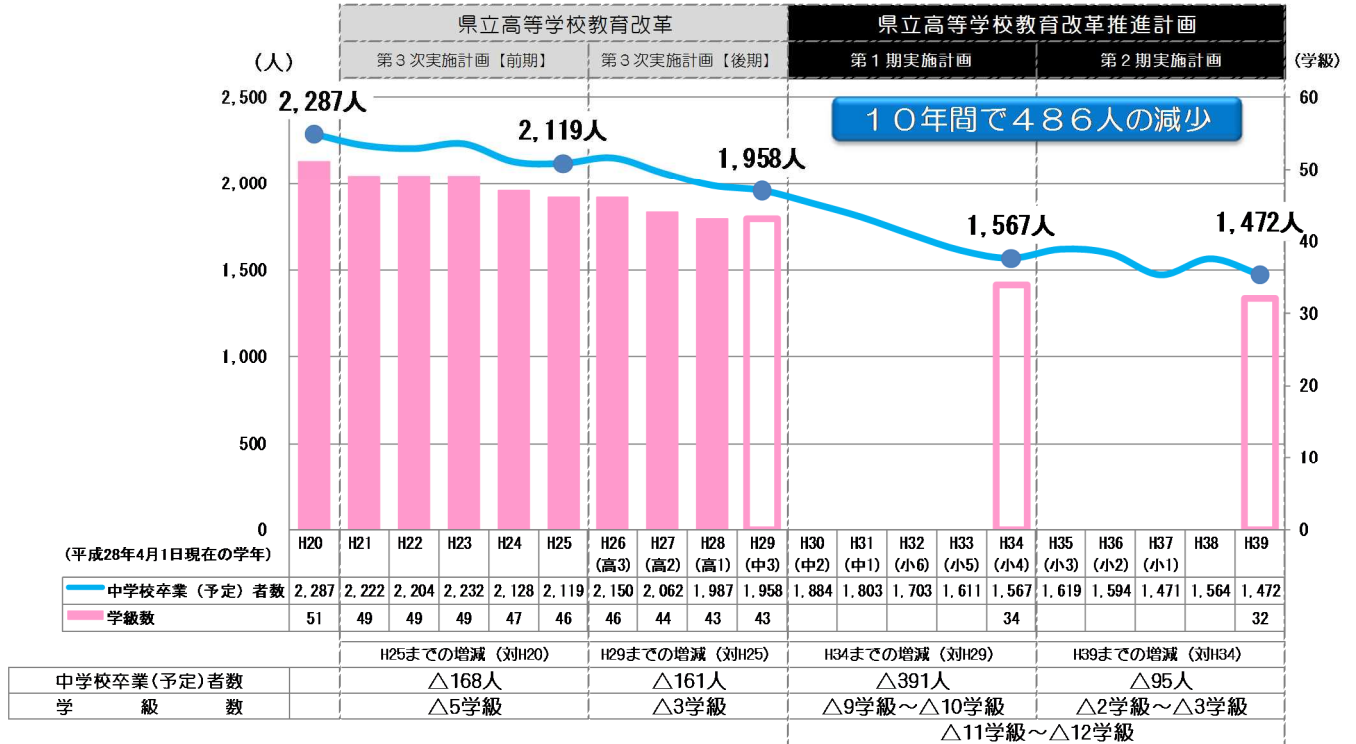
一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	弘前高校	6 学級	△ 5 学級 (対 H29)	△ 9 学級 (対 H29)
拠点校	弘前工業高校	7 学級		
重点校等の合計		1 3 学級		
連携校	弘前実業高校	7 学級		
	弘前中央高校	6 学級		
	弘前南高校	6 学級		
	黒石高校	4 学級		
	柏木農業高校	4 学級		
	黒石商業高校	4 学級		
連携校の合計		3 1 学級		
中南地区全体の合計		4 4 学級	3 9 学級	3 5 学級

上北地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)

学校名	候補校	H29		普通科等						職業学科		総合学科	
		学級数	募集人数	4c1	4c2	4c3	4c4	4c5	4c6	35	36	40	41
三本木	重点校	6	240	40	40	40	40	40	40				
十和田西		2	70	36	35								
三沢		6	240	40	40	40	40	40	40				
野辺地		3	120	40	40	40							
七戸		4	160	40	40	40	40						
六戸		2	70	36	35								
百石		4	160	40	40	40	40						
六ヶ所	地域校	2	70	35	35								
三本木農業	拠点校	5	175	36	35	35	35	35					
十和田工業		5	175	35	35	35	35	35					
三沢商業		4	160	40	40	40	40						

(11校)

	H29	H34	H39
	学校数	学校数 (対H29)	学校数 (対H29)
6学級	2校	1校 △1校	1校 △1校
5学級	2校	1校 △1校	0校 △2校
4学級	3校	2校 △1校	2校 △1校
3学級	1校	3校 +2校	4校 +3校
2学級	3校	2校 △1校	2校 △1校
1学級	0校	2校 +2校	2校 +2校
地区計	43学級	34学級	32学級
増減		△9学級	△11学級
平均	3.9学級	3.1学級	2.9学級

3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

○基本となる学校

1 学年当たり 4 学級以上 (全ての学校が対象)

○普通科等の重点校

1 学年当たり 6 学級以上

○職業教育を主とする専門学科の拠点校

一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

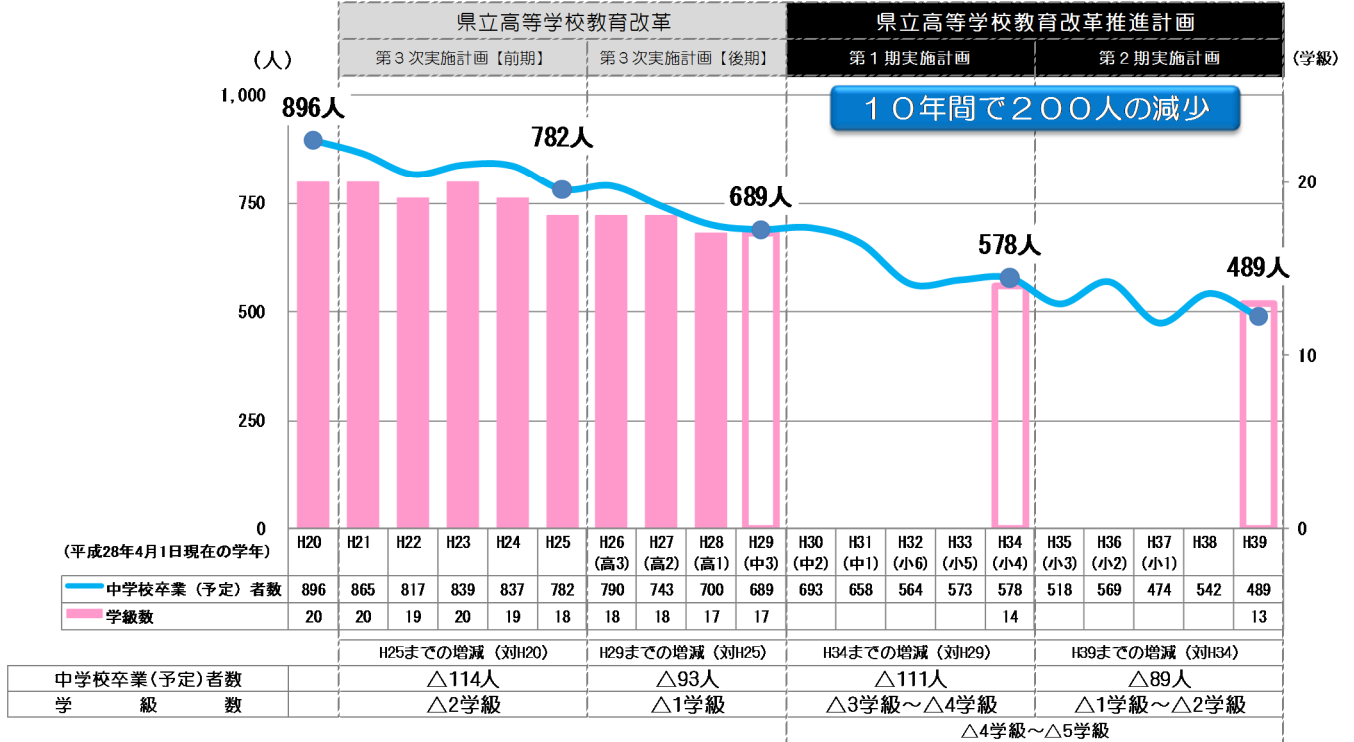
試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	三本木高校	6 学級	△ 9 学級 (対 H29)	△ 1 1 学級 (対 H29)
拠点校	三本木農業高校	5 学級		
地域校※	六ヶ所高校	2 学級		
重点校等の合計		1 3 学級		
連携校	三沢高校	6 学級		
	十和田工業高校	5 学級		
	七戸高校	4 学級		
	百石高校	4 学級		
	三沢商業高校	4 学級		
	野辺地高校	3 学級		
	十和田西高校	2 学級		
	六戸高校	2 学級		
連携校の合計		3 0 学級		
上北地区全体の合計		4 3 学級	3 4 学級	3 2 学級

※基本方針に定める地域校の方向性に基づき、募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合には、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向けて協議します。

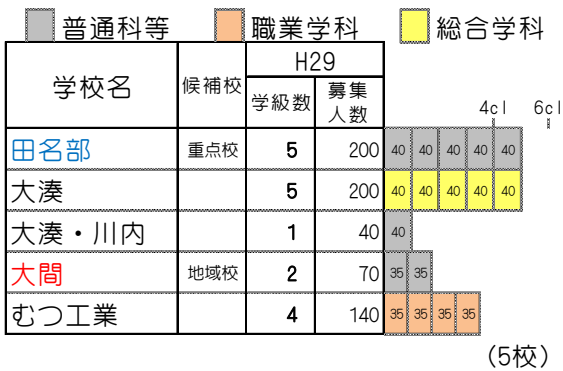
下北地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)



	H29	H34		H39	
	学校数	学校数	(対H29)	学校数	(対H29)
5学級	2校	1校	△1校	1校	△1校
4学級	1校	0校	△1校	0校	△1校
3学級	0校	2校	+2校	1校	+1校
2学級	1校	1校	±0校	2校	+1校
1学級	1校	1校	±0校	1校	±0校
地区計	17学級	14学級		13学級	
増減		△3学級		△4学級	
平均	3.4学級	2.8学級		2.6学級	

3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

○基本となる学校

1 学年当たり 4 学級以上 (全ての学校が対象)

○普通科等の重点校

1 学年当たり 6 学級以上

○職業教育を主とする専門学科の拠点校

一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

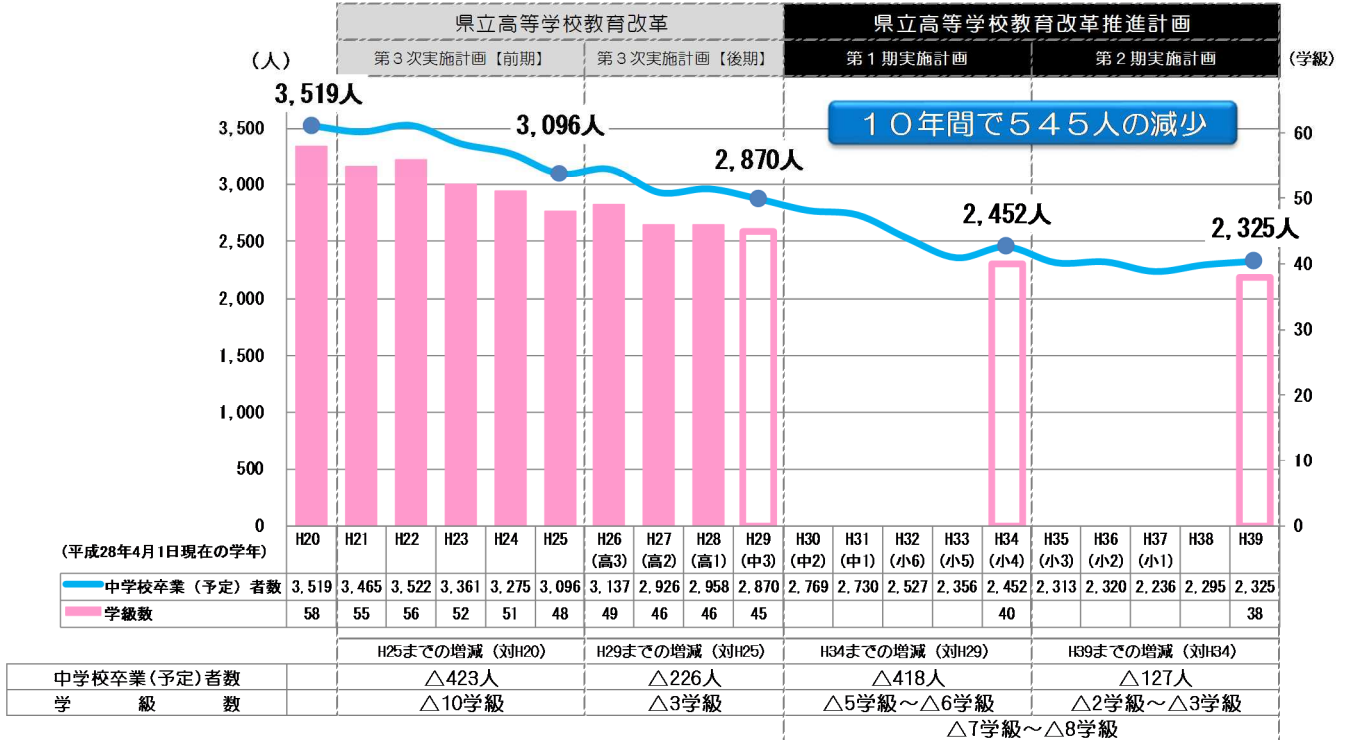
試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	田名部高校	5 学級	△ 3 学級 (対 H29)	△ 4 学級 (対 H29)
地域校※	大間高校	2 学級		
重点校等の合計		7 学級		
連携校	大湊高校	5 学級		
	むつ工業高校	4 学級		
	大湊高校川内校舎	1 学級		
連携校の合計		1 0 学級		
下北地区全体の合計		1 7 学級	1 4 学級	1 3 学級

※基本方針に定める地域校の方向性に基づき、募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合には、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向けて協議します。

三八地区の学校配置シミュレーション

1 中学校卒業生数の推移と全日制課程の学級数の見込み

※中学校卒業(予定)者数は、各年3月。
 平成29年度以降は、平成28年5月1日現在の児童生徒数をもとに県教育庁高等学校教育改革推進室において推計。
 ※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。
 平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出。



2 学校規模の見込み (平成29年度に生徒を募集する学校を全て配置し、学級数の多い学校から順に学級減を行った場合)

学校名	候補校	H29		4c1						6c1		
		学級数	募集人数	4c1	4c1	4c1	4c1	4c1	4c1	6c1	6c1	
八戸	重点校	6	240	40	40	40	40	40	40			
八戸東		6	230	40	40	40	40	40	30			
八戸北		6	240	40	40	40	40	40	40			
八戸西		5	200	40	40	40	40	40				
三戸		2	70	35	35							
五戸		2	70	35	35							
田子	地域校	1	40	40								
名久井農業		3	105	35	35	35						
八戸水産		3	105	35	35	35						
八戸工業	拠点校	7	245	35	35	35	35	35	35	35		
八戸商業		4	160	40	40	40	40					

(11校)

	H29	H34		H39	
		学校数	学校数 (対H29)	学校数	学校数 (対H29)
7学級	1校	0校	△1校	0校	△1校
6学級	3校	2校	△1校	1校	△2校
5学級	1校	2校	+1校	2校	+1校
4学級	1校	1校	±0校	2校	+1校
3学級	2校	3校	+1校	3校	+1校
2学級	2校	2校	±0校	2校	±0校
1学級	1校	1校	±0校	1校	±0校
地区計	45学級	40学級	△5学級	38学級	△7学級
平均	4.1学級	3.6学級		3.5学級	

3 重点校・拠点校・地域校・連携校の学校規模の状況

《学校規模の標準》

○基本となる学校

1 学年当たり 4 学級以上 (全ての学校が対象)

○普通科等の重点校

1 学年当たり 6 学級以上

○職業教育を主とする専門学科の拠点校

一つの専門学科で1 学年当たり 4 学級以上

試案における候補校		H 2 9	H 3 4	H 3 9
重点校	八戸高校	6 学級	△ 5 学級 (対 H29)	△ 7 学級 (対 H29)
拠点校	八戸工業高校	7 学級		
地域校※	田子高校	1 学級		
重点校等の合計		1 4 学級		
連携校	八戸東高校	6 学級		
	八戸北高校	6 学級		
	八戸西高校	5 学級		
	八戸商業高校	4 学級		
	名久井農業高校	3 学級		
	八戸水産高校	3 学級		
	三戸高校	2 学級		
	五戸高校	2 学級		
連携校の合計		3 1 学級		
三八地区全体の合計		4 5 学級	4 0 学級	3 8 学級

※基本方針に定める地域校の方向性に基づき、募集人員に対する入学者数の割合が2年間継続して2分の1未満となった場合には、当該高校の所在する市町村等と募集停止等に向けて協議します。